

思春期症例に犬介在療法を 行った経過

医療法人耕仁会 札幌太田病院

多田信夫₁₎ ○堀川ゆかり₂₎ 菊地俊一₃₎ 新妻由美₄₎

小田島早苗₄₎ 根本忠典₅₎ 太田耕平₆₎

1)犬介在療法士 2)内観指導員 3)作業療法士 4)看護師 5)心理士 6)医師

犬介在療法とは

犬との触れ合い
犬と一緒にいる喜び



精神的健康の回復
身体機能訓練補助

当院では、2011年11月から導入



犬介在療法・十段階サポートプラン(1)

(太田耕平理事長 考案)

1段階：犬を目で追う

2段階：犬のそばによる

犬への接近 十段階	1.眺める→アイコンタクト 2.犬の気持ちを推察する 3.犬に安心感を与える 4.少しずつ近づく 5.あごの下に指先を伸ばす 6.犬が指の匂いを嗅ぐ 7.犬が指先をなめる 8.鼻を撫でてやる 9.顎→頭を撫でる 10.体を撫で、ゆっくり膝に抱き上げる(介護者が支援)
犬と同行散歩 五段階	1、室内 2、同階 3、全館 4、庭散歩 5、近隣散歩、排便・尿訓練

犬介在療法・十段階サポートプラン(2)

- 3段階 : 犬の名前を呼ぶ
- 4段階 : 犬の頭や背をなでる
- 5段階 : 犬におやつを与える
- 6段階 : 犬の対応方法、注意点が分かる
- 7段階 : 犬を抱っこできる
- 8段階 : 犬のしつけができる
- 9段階 : 犬を室内、室外に散歩させる
- 10段階 : すべて可能

実施場所(1)

- 札幌太田病院
 - ・ 外来・・・新患児童
 - ・ 病棟・・・ストレスケア病棟(アルコール・薬物・うつ・統合失調症等)
精神療養病棟、高齢者専用病棟
 - ・ デイケア・・・アルコール・薬物依存専門デイケア、
思春期専門デイケア、
慢性期統合失調症デイケア、
ナイトケア

実施場所 (2)

- 札幌太田病院
 - ・ 運動場
- 屋外
 - ・ 近隣～公園散歩
 - ・・・10～60分
- 介護老人保健施設
セージュ山の手
- 介護老人保健施設
セージュ新ことに



参加者

- 早朝6:15～・・・不登校児
- 昼休み・・・老人保健施設のデイケア
- 通常時間帯・・・アルコール、薬物
うつ、統合失調症患者、
高齢者など

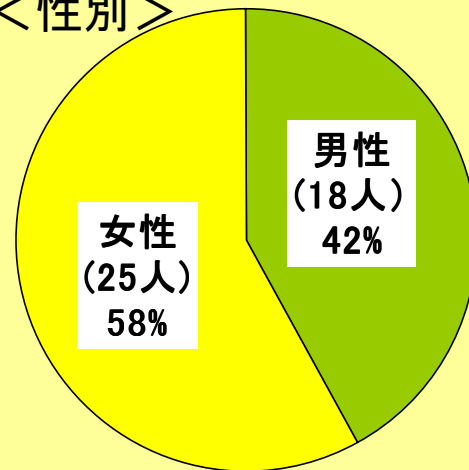


思春期症例入院者(過去1年)

2013年11月8日現在

入院年月日	性別	症状	年齢	小中高	退院日	入院日数
2011/11/22	男性	広汎性発達障害	10	小	2012/3/12	112
2012/12/25	女性	行為障害	11	小	2013/1/13	19
2013/1/29	女性	統合失調症	17		2013/3/18	50
2013/2/2	男性	身体化障害	17	高	2013/2/12	10
2013/2/5	男性	不登校状態	13	中	2013/2/12	14
2013/3/22	女性	身体化障害 摂食障害	16		2013/4/1	10
2013/4/3	女性	心因反応(幻聴妄想)	13		2013/4/15	12
2013/4/18	男性	身体化障害	6	小	2013/5/17	29
2013/4/19	女性	身体化障害	16	高	2013/6/12	54
2013/5/13	女性	不登校状態	16	高	2013/5/24	11
2013/5/17	男性	広汎性発達障害	11	小	2013/8/1	76
2013/5/21	男性	不登校状態	16	高	2013/5/23	2
2013/5/22	男性	集団型行為障害 怠学	15	中	2013/6/3	12
2013/5/30	男性	不登校状態	13	中	2013/6/13	14
2013/5/31	男性	ナルコレプシー 精神運動発作	13	中	2013/8/23	84
2013/6/1	男性	抑うつ状態	12	小	2013/6/12	11
2013/6/13	女性	身体化障害	13	中	2013/6/17	4
2013/6/14	女性	不登校状態	17		2013/6/16	2
2013/6/19	男性	不登校状態	17		2013/7/1	12
2013/6/20	女性	抑うつ性行為障害	14	中	2013/7/8	18
2013/6/20	女性	分離不安障害	16		2013/7/1	11
2013/6/27	男性	うつ状態	14	中	2013/8/9	43
2013/7/4	男性	家庭限局性行為障害 選択性緘黙	14	中	2013/10/18	106
2013/7/30	女性	家庭限局性行為障害	15	中	2013/9/2	34
2013/7/30	女性	行為障害	17		2013/8/23	24
2013/8/1	女性	抑うつ・反抗性行為障害	16		2013/8/28	27
2013/8/7	男性	家庭限局性行為障害	16		2013/8/12	5
2013/8/9	女性	身体化障害	15	高	2013/8/27	18
2013/8/12	女性	統合失調症	16	高	2013/8/26	14
2013/8/20	男性	身体化障害	15	中	2013/8/28	8
2013/8/23	男性	統合失調症	17		2013/9/18	26
2013/8/30	男性	不登校状態	15	中	2013/9/17	18
2013/8/30	男性	身体化障害	15	中	2013/9/13	24
2013/8/30	女性	身体化障害	15			
2013/9/2	女性	不登校状態	13	小	2013/9/17	15
2013/9/2	女性	不登校状態	16	高	2013/10/11	33
2013/9/6	女性	不登校状態	12	中		
2013/9/7	女性	家庭限局性素行障害	15	高	2013/10/25	48
2013/9/10	女性	行為障害 精神症状を伴う重うつ	17		2013/10/28	48
2013/10/3	女性	不登校状態	13	小	2013/10/21	18
2013/10/10	女性	不登校状態	14		2013/10/28	18
2013/10/26	女性	社会不安障害 登校恐怖	17			
2013/11/5	女性	行為障害	17			

<性別>

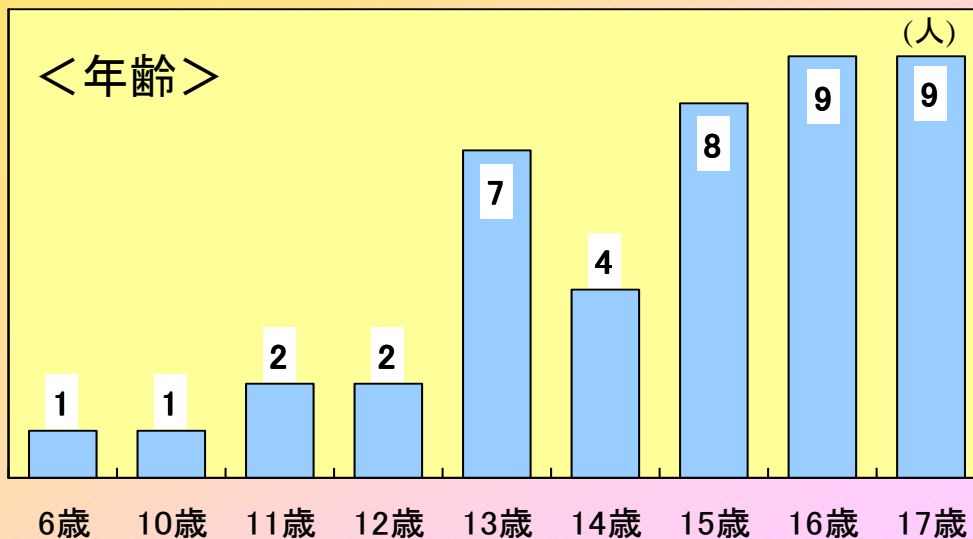


合計43人

平均年齢
14.5歳

平均在院日数
25.4日

<年齢>

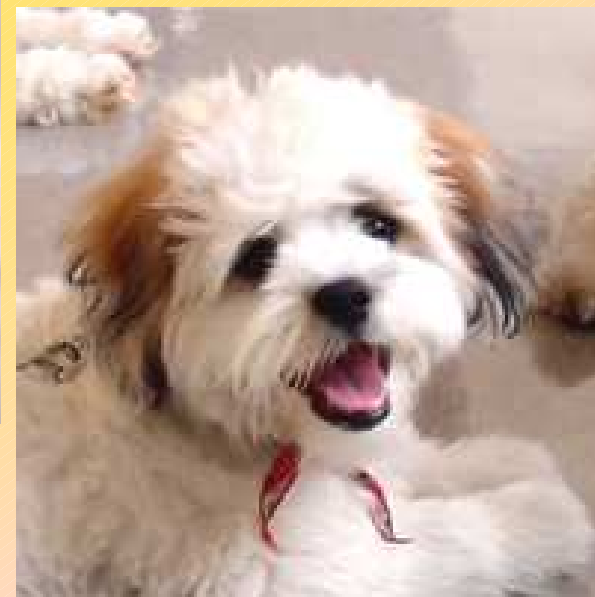


セラピー犬

ノン(メス)



レオ(オス)



ハーハー(オス)

行動療法とボランティア

- 犬の心を読み(尿意・水飲みなど)、思いやる
- 行動療法として、犬の世話
 - 散歩やブラッシング
- ボランティア
 - 他の病棟や
老人保健施設で
担当職員の補助

犬介在療法を用いた
社会復帰訓練



思春期症への効果(1)

～犬介在療法による生活改善～

午前6時15分からのグループ犬散歩

- ・毎日の継続
(犬を裏切らない、
犬に嘘をつかない)
 - ・早寝早起き、
規則正しい生活、
正確な時間割
(子供達にも嘘をつかない)
- 犬や職員への信頼感が、
登校につながる



思春期症への効果(2)

～犬介在療法による生活改善～

- 体力づくり
- 対人トレーニング
(話し合って交代で
犬をひく、譲り合い)
- 寒暖、雨風に合わせた
靴・服装の選択
→ 日常的適応力



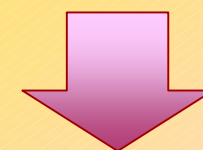
思春期症への効果(3)

～犬介在療法による生活改善～

早起き → 犬散歩 → 朝食

→ 登校準備に十分な時間

(犬との生活の一体感・仲間意識)



病院から登校



自宅から登校

医療法人 耕仁会 札幌太田病院 開院70周年記念学術講演会



2013年11月9日 北海道札幌市 札幌パークホテル

犬介在療法で広がる子供の視野

- トリマーとの交流
- 地域の人や犬との交流
- 職員間の交流
- 獣医師との交流



犬の自然な姿による癒し

- 犬同士のじゃれ合い
- オスとメスとの交流
- 親犬の変化、子犬の成長
セラピー犬が・・・
 - ノン1匹の時
 - ノンとハーハー2匹の時
 - 子犬4匹と両親犬がいる時
 - 親子3匹の時(現在)
- 仔犬の犬歯による授乳拒否：甘えの防止



奏効機序(1)

- 犬を囲み、自然に人が集まる
→ 会話と交流が生まれる
- かわいい犬と一緒にいられて嬉しい
- 涙ながらに犬を抱きしめ「仕合せ」と
- 犬が自分を受容してくれることへの安心感
- 無心に遊ぶ犬たちの姿に影響を受け、
自己開示につながる
- 「可愛い」「元気が出る」などの
感情表現ができる

奏効機序 (2)

- 遊んでやると犬が喜ぶ→自己肯定感
- 頼られ、世話をする
→責任感、積極的行動
- 犬の親と仔の関係から、自らの親への感謝の気持ち
→家族関係への気付き

他の療法との相乗効果

心理療法

- ・病棟内内観療法

遊び療法

- ・小弓道
- ・ゴム銃射撃

院内学校

- ・学力向上

犬介在療法



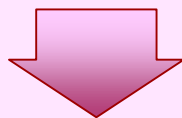
精神的健康と規則正しい生活

登校実現

まとめ

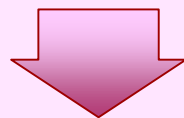
十分な時間をかけた犬介在療法

犬との時間
安心感、自信



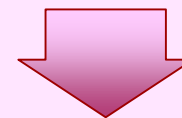
ゆとり

犬を中心に
周囲との対話



疎通性

共に散歩や
餌やり



行動化



新しい自信と希望

今後の課題(1)

参加者の感想は 概ね好評

- 「楽しかった」
「癒される」
- 病棟の雰囲気
が明るくなる
- 業務中の職員も
気持ちや和み、
癒される

一部には苦言も

- 犬は苦手…
- おやつを持って
いる人に犬が集中
しがち
- 名前を呼んだら
寄って来てほしい
- ボール投げなどの
遊びをしたい

今後の課題(2)

- セラピー犬の育成
- ボランティア、
ピア・サポーターの育成
 - より多くの方に参加してもらう
 - 社会参加の場の提供
- 犬飼育者の苦勞への評価



ご清聴ありがとうございました。

参考文献

- (1)太田耕平.幼児から高齢者までの心の発達十段階心理療法(第11版).三誠社.2011
- (2)新妻由美他.精神療養病棟での犬介在療法の効果.医療法人耕仁会.第15回思春期の心の講演会、相談会抄録集.2012